

悲劇のヒロイン

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

2019年2月7日◎~2月10日◎

リアルな悲劇、フェイクの悲劇、フィクションの悲劇—

“今”の私たちにとって、本当の「悲劇」とは何か？

踊る。とやダンスの概念を根底から考え直す中で、演劇、パフォーマンス、美術、映像、音楽など既存のジャンルを軽やかに飛び越え、新しいダンスのかたちを提示し続けるニブロール。新作「悲劇のヒロイン」は、悲劇的な立場に置かれた5人の女優が、自らの不条理な状況を憂い、飾り立て、時に正当化しながら、自身の不幸を声高らかに語りあげます。現実社会で起こるリアルな悲劇と、不幸な自分に酔い不幸を誇張するフェイクの悲劇、また舞台上のフィクションとしての悲劇という3つの異なる時空から「悲劇」の構造を捉えることで、自分とこの世界の関係性を見つめ直します。今を生きている私たちにとって「悲劇」とは何か、また人々は不条理とどう対峙すべきなのでしょう？

振付・演出：矢内原美邦

映像・美術：高橋啓祐

音楽：SKANK／スカンク

照明：岡野昌代

出演：笠木泉、川田希、光瀬指絵、皆戸麻衣、望月めいり

2019年

2月7日 ⑩ 19:30

2月8日 ⑨ 14:00/19:30

2月9日 ⑨ 14:00/19:30

2月10日 ⑩ 14:00

受付開始は開演の1時間前、開場は30分前

東京芸術劇場 シアターウエスト

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1

TEL: 03-5301-2111

JR：東京メトロ・東武東上線・西武池袋線

池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結



●チケット(指定席※税込)

一般：前売3,500円／当日3,800円

25歳以下：前売2,500円／当日2,800円 *要証明書

※購入時に座席ブロックをご指定いただけます。

※複数枚の同時購入をご希望の方はPeatixでお買い求めください。

※車椅子でご来場の方はnibroll.ticket@gmail.comまで直接ご連絡ください。

●チケット取扱

◆precog (Peatix)

<https://precog-tickets.peatix.com>

◆東京芸術劇場ボックスオフィス

<http://www.geigeki.jp/t/> (PC)

<http://www.geigeki.jp/i/t/> (携帯)

TEL: 0570-010-296 (休館日を除く 10:00~19:00)

◆チケットぴあ (Pコード: 490-950)

<https://t.pia.jp>

TEL: 0570-02-9999 (音声ガイダンス 24時間受付)

セブン・イレブン・チケットぴあ店舗でも直接販売

◆ローソンチケット (Lコード: 34867)

<http://l-tike.com>

TEL: 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~20:00)

ローソン・ミニストップ店頭 Loppi でも直接販売

◆TPAM フリンジ

<https://www.tpam.or.jp>

●託児サービス (有料・定員制・希望日1週間前迄に要申込)

ご予約受付・お問合せ：HITOWA キャリアサポート株式会社
わらべうた 0120-415-306 (平日 9:00~17:00)

●お問い合わせ

株式会社 precog (平日 10:00~19:00)

MAIL: info@precog-jp.net

TEL: 03-6825-1223

<http://precog-jp.net>

●公演詳細 <http://www.nibroll.com>

彼女たちが流した血を

このだらしない体で

どうやって受け止めよう？

わたしはセカイミは無縁です。

それこそマッチ売りの少女…？

ジャンヌダルク？ オフィーリア？ オスカル？

わたしはひそりぼうちです。

悲劇のヒロイン

芸劇 dance

技術監督：鈴木康郎

舞台監督：湯山千景

宣伝美術：岡本健+

メインビジュアル撮影：橋本裕貴

広報資料編集：リレーリレー 西谷枝里

制作統括：中村茜

制作：水野恵美

制作アシスタント：岩井美菜子

票券：翠・sui-

企画制作：株式会社 precog

代表・ディレクター：中村茜

チーフプロデューサー：黄木多美子

チーフアドミニストレーター：兵藤美衣

プロデューサー：水野恵美

デスクアシスタント：岡本縁・岩井美菜子・グンナレ・美和咲

主催：Nibroll、株式会社 precog

提携：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成：芸術文化振興基金

協力：アジア女性舞台芸術会議実行委員会、エース・オー・エー・オン・ビジュアル、近畿大学矢内原研究室、スターダストプロモーション

SNOW Contemporary、山吹ファクトリー、安藤朋子、レ・カイ

主催：Nibroll、株式会社 precog

東京芸術劇場

“Drama Queen”

Choreograph, Direction: Mikuni Yanaihara

Video, Set design: Keisuke Takahashi

Music: SKANK

Lighting: Masayo Okano

Performers: Izumi Kasagi,

Nozomi Kawata, Yubie Mitsuse,

Mai Minato, Meiry Mochizuki

Presented by Nibroll, precog co., LTD.

Associated with Tokyo Metropolitan Theatre (Tokyo

Metropolitan Foundation for History and Culture)

Supported by Japan Arts Fund

Venue

Tokyo Metropolitan Theatre,

Theatre West

1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku,

Tokyo 171-0021

*Directly accessible from Exit 2b of Ikebukuro Station underground passage

Nibroll (ニブロール)

1997年結成。振付家・矢内原美邦を中心に、映像作家・高橋啓祐、音楽家・SKANK／スカンクなど様々な分野で活動するメンバーが集まり舞台作品を制作・発表するダンスカンパニー。劇場のみならず、美術館や野外でのパフォーマンスのほか、映像や美術など様々な視点からも身体表現の可能性を追求している。森美術館MAMコンテンポラリー賞トータル賞(2004年)、日本ダンスフォーラム大賞(2009年)受賞。東京・横浜を主な活動拠点としながら欧米やアジアなどでも作品を発表し活動の幅を広げている。

Facebook: Nibroll Twitter: Nibroll Instagram: nibroll



Meiry Mochizuki



Mai Minato



Yubie Mitsuse



Izumi Kasagi



Nozomi Kawata